

共生・公正・創造  
共生の精神のもとに、心  
とところをつなぎ、次代  
につながる公正な社会を  
創ります。

# JR東日本労働組合 東京地本

JR東日本労働組合  
東京地方本部  
東京都千代田区鍛冶町2-11-11  
発行者・郷 重雄 編集者・室岡 圭司  
TEL(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292  
FAX(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292



## 新年あけまして おめでとーございませ 執行委員長挨拶

新年明けましておめでとーございませす。  
昨年9月9日に開催した、第5回定期大会において執行委員長に選出された郷です。  
組合員・ご家族の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。  
さて、今年東京地本は、5年目を迎えます。これまでのご協力で感謝申し上げますと共に、全組合員の皆様と組織の強化・拡大に向け更なる取り組みをとり進めたいと思っております。

は、安全の確立です。昨年末、京浜東北線で、工事の影響と思われる架線切断事故が発生し、また、博多発東京行き新幹線「のぞみ号」の台車に亀裂が入る事故が発生しました。事故の原因は、様々な角度から検証しなければなりません。ベテラン社員の大量退職期を迎え技術継承はしっかりとされているのか、安全確保に向けグループ会社との関係はどのように構築されているのかなど、今一度検証することが求められているのではないのでしょうか。私たちが安全確保を労使共通の課題として重く受け止め、実効性の高い安全対策を講じるように、経営協議会や団体交渉などを通し求めて行きます。

次は労働組合として当り前の労働条件の維持向上は、最も大きな課題と言えます。昨年10月に発表された第2四半期決算では、過去最高の文字が使われるほどの好決算となりました。インバウンド需要の増加など好条件に恵まれたこと以上に、職場で汗して働く私たちの奮闘なしには成し遂げられなかったことはいくらでもありません。しかし、その私たちの労働条件や職場環境は、決算などで示されたJR東日本の体力から見て、その体力をつくり出して来た私たちの労働力に相応しいものとは言えません。鉄道輸送業は、一人のスーパーマンで担えるものではありません。関係するすべての職場で働く労働者の力の結集で成立つものだと思います。だからこそ、職場で働く労働者の結集と、その一人ひとりの労働条件の底上げが必要なのではないでしょうか。その実現のために、JRに関連する全ての労働者の、力の結集に向けた取り組みをつくり出して行きます。

私たちの生活環境は、大きく変化しようとしています。自民党一強政治のもと、昨年成立した「共謀罪」の趣旨を含む「改正組織犯罪処罰法」は、「何が計画にあたるのか」「誰が処罰されるのか」など曖昧のまま審議が打ち切られてしまいました。国民を監視することのみが強化されるといふことと、改憲に向けたスケジュールが示されたこととは無関係とは言えません。しかし、対抗軸となるべき民進党は、昨年10月に行われた衆議院選挙直前に、野党結集どころか分裂してしまひ、自民党一強をまた許してしまいました。労働組合は、社会変革の担い手である以上、地域共闘や政治活動など積極的に取り組める組織へと成長することが課題となりま



す。労働組合の垣根を越え、職場で働く労働者の拠り所となるJR東日本労働組合へと成長して行かなければなりません。JR連合との関係は、まだ具体的な前進はありません。JR連合にとって必要とされる労働組合へと成長して行くことも大きな課題であります。

労働組合は、役員だけのものではありません。職場で働く組合員の視点に立ち、全組合員と課題克服に向け取り組みをつくり出して行きます。よろしく申し上げます。

1月20日(土) 11時からホテルラングウッドにおいて、新春の集いを開催します。多くの組合員の参加を要請します。組合員・ご家族の皆様のご健康と益々のご活躍を祈念し、新年のあいさつに代えさせていただきます。共に頑張りましょう。

本年もよろしく申し上げます  
執行部一同

執行委員長	郷 重雄
執行副委員長	小宮 実
執行副委員長	佐藤 充
書記長	小泉 弘明
執行委員	難波 剛
執行委員	中嶋 洋司
執行委員	須貝 欣一
執行委員	依田 匡一
執行委員	室岡 圭司
会計監査員	久保田 勉
会計監査員	鈴木 栄司

## 今後の活動予定

- 1月20日(土) 東京地本新春の集い  
ホテルラングウッド 11時から
- 2月3日(土) 第5回定期中央委員会  
ホテルラングウッド 12時から
- 3月3日(土) 共済推進会議  
拡大分会代表者会議  
東京地本事務所 10時30分から
- 3月3日(土) 春闘総決起集会  
田町交通ビル 午後予定